

MSLおやこクラブ 会員募集！

年会費

5,000円/人 (3歳以下は無料)

年度内のイベント (11回) の参加費が無料 (通常1回2千円/人)
 会員バッジがもらえます。会員向けイベントも予定 (年4回程度)



学校でも家庭でも体験することが難しいことを学びます。共同作業で協力や思いやりも身に付きます。

お申し込み方法：その年初めて参加する際にメールでお知らせください。



お米づくり



野菜づくり



<令和8年度予定>
 4/26(日) 種まき
 5/17(日) 野菜苗
 6/7(日) 田植え

6/28(日) コンポスト作り
 8/2(日) 夏野菜カレー
 9/27(日) 稲刈り
 10/4(日) 脱穀

10/25(日) 畑に堆肥
 11/15(日) 新米
 12/13(日) お味噌作り
 1/17(日) 炭焼き

おやこクラブ会員の声

農家の孫として育った私にとって、米作りは『当たり前』の光景でした。でも、息子にはその一粒の背景を肌で感じて欲しくて参加しました。種からお米を育て、味噌を仕込み、雨水タンクまで手作り。最後はマッチで火を熾(おこ)し、釜で炊く。ラボでの体験は驚きの連続でした。4歳の頃は稲の色が変わる理由がわからなかった息子も、5歳になり『ラボの稲も黄色くなったかな』と話すようになりました。親子で命の循環に触れ、成長を実感できる大切な時間になっています。

(相馬市 加藤さん)

身近に広がる田畑を、ただ美しい景色として眺めるだけで大人になりました。ですが、その風景は少しずつ失われ、地域のつながりも希薄になっています。「これでいいのだろうか」と思いながら何も出来ずにいた私が出会ったのが、サイエンスラボの親子体験です。体験を通して人と人がつながり、衣食住を支える生産の大切さを学びました。そのことを、これからを担う子どもたちも肌で感じ、自分たちで作る炊き出しご飯を楽しみながら学ぶことができます。これからも季節を感じながら活動に参加していきたいです。

(原町区 山田さん)

サイエンスラボでは様々な体験型の学びがあり、子どもと来ている私でも回を重ねるごとに知識が身につき、楽しんでいきます。今はSNSの普及で、稲作や火の起こし方、野菜づくりなど、調べればでてくるものですが、実際に外に出て土を触り、人と力を合わせながら行うことで、何倍もの学びや疑問に繋がるんだなあと思えます。子どもも四季を肌で感じ、歳の近い子と協力することに楽しさを感じているようで、サイエンスラボの参加を毎回喜んでいきます。今の時代だからこそ、こういった経験を通して色んな事にチャレンジ、興味をもつきっかけにして欲しいと思います。

(原町区 高橋さん)



はかせ (齋藤 実：昭和46年生)

福島高校卒、埼玉大学大学院博士課程修了(理学博士)、高校理科教員免許・上級バイオ技術者・ふくしま食育実践サポーター、特定非営利活動法人南相馬サイエンスラボ理事長、こども科学実験教室(個人学習塾)代表、先祖は奥州中村藩勤定奉行「紺野文太左衛門」。



身近なものを科学するチャンネルです。チャンネル登録をお願いします。

